

平成19年度 教師海外研修(派遣国:マレーシア)実践報告書

1. タイトル 今,地球があぶない! 私たちにできることってなんだろう?
2. 氏名 市橋 智子
- 学校名 京都市立鳳徳小学校 担当教科 全教科
3. 実践教科 学活/総合的な学習の時間 時間数 4時間
4. 対象生徒・学年 1年/5年 対象人数 45人/59人
5. カリキュラム案

(1)実践の目的

- ・ マレーシアについて知り,日本との違いや共通点を見つけ,外国の生活や文化に興味をもつ。また,それぞれの国には,それぞれ違いがあり,お互いにその違いを認めることが大切であることに気づく。
- ・ 熱帯雨林の破壊が地球の温暖化につながっていることを知り,今,自分たちにできることは何か考える。

(2)授業の構成案

時限・テーマ・ねらい	方法・内容	使用教材
1限目 テーマ:世界の国 ねらい:世界の国々の言葉や文化などを知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ クイズ(世界の言葉・国名・文化・動物・食べ物などについて) ・ スライドによる説明 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世界地図 ・ 写真 ・ プレゼンテーション資料
2限目 テーマ:マレーシアについて ねらい:マレーシアについて知り,違いに気づく。マレーシアでの生活や文化に興味をもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ マレー語クイズ ・ マレーシアボックス ・ スライドによる説明 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 写真 ・ マレーシアボックス(セパタクロー・椰子の葉で作ったうちわ・サロン・ソンコ・トゥドンなど) ・ 資料③④⑤
3限目 テーマ:熱帯雨林について ねらい:熱帯雨林の動植物や役割について知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ スライドによる説明 ・ 具体物の提示 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 熱帯雨林の動植物の写真 ・ オランウータンのぬいぐるみ ・ ボルネオの昆虫の標本 ・ 資料⑥
4限目 テーマ:今,私たちにできること ねらい:破壊される熱帯雨林の現状を知り,自分たちにできることを考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・ (1年生) ・ 絵本の読み聞かせ ・ 自分たちにできることを考える。 ・ (5年生) ・ ビデオの視聴 ・ 自分たちにできることを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ (1年生)資料①② ・ 「ハチドリのひとつづく」 ・ 絵本「kojyu and the banana tree in the Lower Kinabatangan」 ・ (5年生) ・ 素敵な宇宙船地球号 ・ (パーム油)

6. 授業の詳細

<1限目>

世界地図をプロジェクトの大画面に写しだし、日本の場所や1年生・5年生それぞれの生活・学習経験の中からのなじみのある国の場所をクイズ形式で出題した。世界地図自体を見慣れていない児童が多く、世界の広さを感じていた。国名や地理的な場所だけでなく、動物や食べ物を例にあげることで、より具体的なイメージをもつことができていた。日本語・英語・中国語・マレー語・スペイン語など、外国の言葉で「こんにちは」「ありがとう」とあいさつをすることは、児童にとって興味をもって取り組むことができる学習であった。

<2限目>

2限目は、1限目で学習した国の中からマレーシアを取り上げることがを伝え、より詳しく写真やクイズなどで学習を進めた。また、教材にマレーシアボックスを使用し、外国の物に直に触れ、使用法を考えることで意欲的に学習に取り組むことができ、児童の印象にも残ったようだ。マレーシアボックスは、1年生でも5年生でもグループワークではなく、学級全体で1つのものについて、その使用目的を考えたため、それぞれの物の文化的背景や生活様式を詳しく伝えることができた。言葉の学習についても、児童にとっては大変印象深かったようで、授業終了後もあいさつを外国の言葉で言ったり、給食のメニューをマレー語で言ったりするなどの姿が日常生活の中で見られた。

<3限目>

1年生にとっては馴染みの薄い「熱帯雨林」という言葉を伝えるために、「地球のクーラー」という説明をした。熱帯雨林・地球の温暖化など難しい内容だったが、児童は真剣に話を聞いていた。熱帯雨林にすむ生物の多様性を、昆虫標本や、動物の写真で説明をした。また、熱帯雨林に暮らす人々の生活を写真で示すと、驚きを隠せないようだった。5年生の中には、ダガット村での生活が、地球環境のために一番いいと思うという意見を述べる児童もいた。

<4限目>

破壊される熱帯雨林と地球の温暖化というテーマで授業を進めた。1年生と5年生では理解力に差があるため、使用教材をそれぞれの実態にあったものを使用した。1年生では、熱帯雨林にすむ、オランウータンのコジユクンのぬいぐるみと、絵本「kojyu and the banana tree in the Lower Kinabatangan」の読み聞かせを行った。森林伐採によって森を追われ、母親と離ればなれになってしまったコジユクんに共感し、「森を守ろう」「水や電気の無駄遣いをやめよう」という意見が聞かれた。「ハチドリのひとつ」の話を聞き、1年生なりに人ごとではなく、自分たちの問題として環境問題を考えられていたように思う。5年生では、素敵な宇宙船地球号のビデオを視聴した。「パーム油」という名前を聞いたことがある児童は一人もいなかったが、食品や洗剤などの具体的な物を提示することで、パーム油が自分たちの生活にとって身近なものであり、熱帯雨林の破壊に関わっていることを知り、衝撃を受けていた。熱帯雨林にすむ動物(ビデオの中ではボルネオゾウ)が傷付き、苦しんでいる姿をみて、自分たちにも責任があると感じたようだ。授業後、環境問題に対する意識が高まり、スーパーでの買い物を気をつけるようになったという児童もいた。

7. 所感・反省点・改善策

教師海外研修に参加して、「自分が学んだことや感じたことを、子どもたちに伝えたい」という強い思いがあったが、それをどのように伝えるのが一番適切であるのか、何を伝え、考えさせるのか、ということが大変難しかった。

授業の詳細にも記したように、児童には、今、地球で何がおこっているのかを知り、自分たちにできることは何なのか、ということを考えてもらいたかった。

1年生と5年生を対象に授業を実施したが、各学年の実態に応じた資料・教材を研究する必要があった。

5年生はこれまでに総合的な学習の時間の中で環境問題について触れ、考える機会が多くあり、今回の学習でもスムーズに理解をすることができていた。これまでは、あくまでも地球のどこかでおこっていることで、自分の生活には関係のないことだと認識していた環境問題が、パーム油を含む食品や生活用品を目の当たりにすることで、自分も環境破壊の原因の一つになっていると感じられたようだ。しかし、パーム油の消費→パーム油の製造→プランテーションの拡大→森林伐採→地球温暖化という図式は、5年生の児童には難しく、学習の中で気づいてもらいたかったが、補足説明をする必要があった。また、野生生物に関しては、児童の興味があるところであるので、今後は調べ学習を取り入れることも考えていきたい。

1年生は、生活経験自体が乏しく、地球の環境問題に目を向けるということが新しい体験になっていた。しかし、家庭での環境意識が高く、日常的に電気・水・紙などの無駄遣いをしない、スーパーでは袋をもらわないなど、すでに環境問題に関して実際に取り組んでいることを紹介する児童も見られた。保護者からも、そういった学校での取り組みに理解を示し、賛成する意見が聞かれた。

授業後、児童の日常生活の中に無駄をなくそうとする意識や態度が見られ、今回の学習が授業の中だけで終わらず、彼らの生活の中に根付くものになるきっかけとなったのではないかと思う。

参考資料・引用文献

辻信一監修 「ハチドリのひとしずく」光文社2006

Ruth Lim 「kojyu and the banana tree in the Lower Kinabatangan」WWF Malaysia 2004

DVD 「第374回 素敵な宇宙船地球号～ボルネオ島・子ゾウの涙」2005年3月20日放送

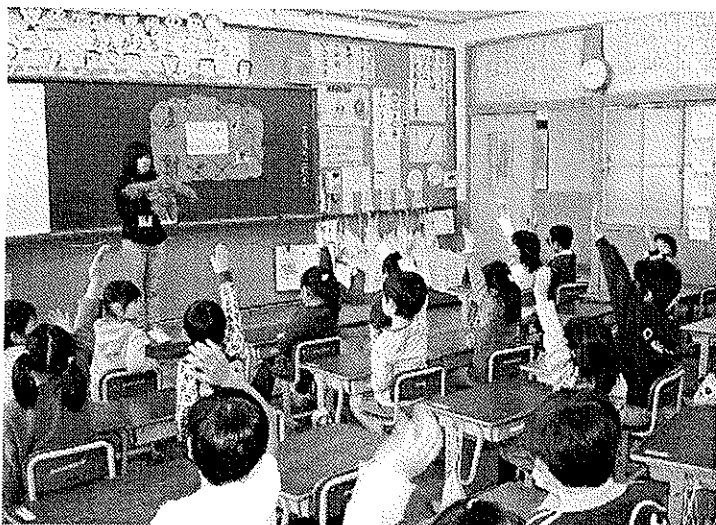
写真／監修 鈴木晃文・鈴木南水子「オランウータンの島」国土社 2004

「ecoborneo ボルネオ・ネイチャーブック」山と溪谷社

「パーム油のはなし～‘地球にやさしい’ってなんだろう？」開発教育協議会2002

8. 授業の様子

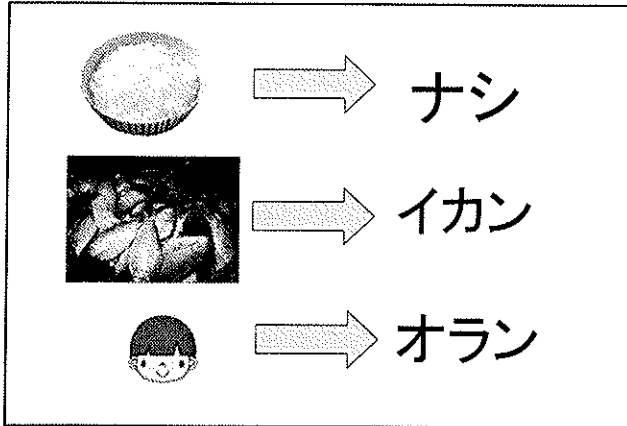
①1年生の授業の様子



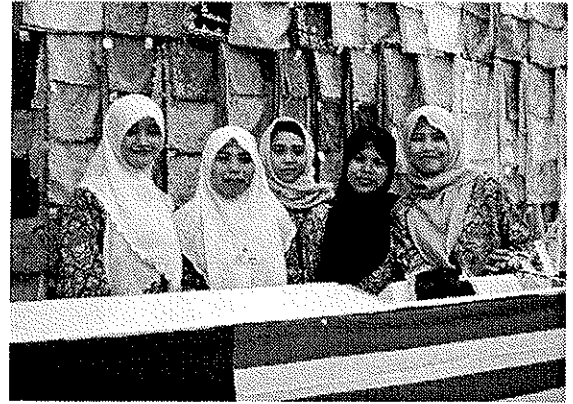
②kojyu and the banana tree in the Lower Kinabatangan



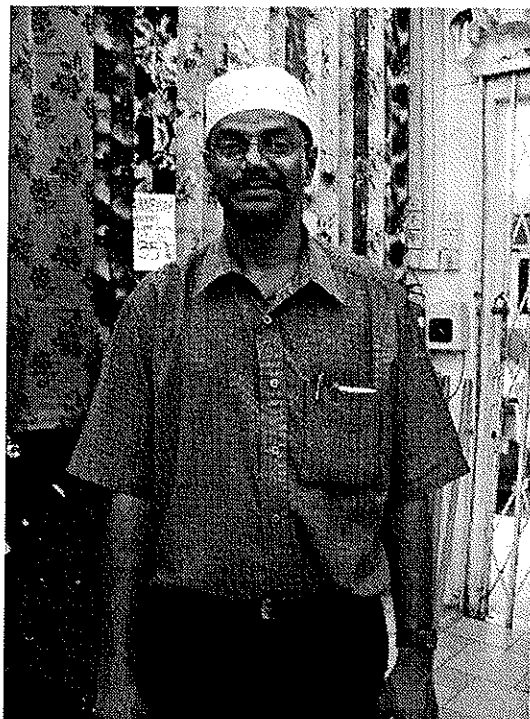
③ マレー語クイズ



④ マレーシアボックス・写真資料



⑤ マレーシアボックス・写真資料



⑥ 熱帯雨林での生活



⑦ 5年生の児童の反応

<児童の反応>

① 今日の授業で思ったことを書きましょう。

ふたん何も考えずに、パーム油が使用されている物を使っているけど、
 こういふことのせいで、動物が「つらい」気持ちになっているなんて知りませんでした。
 あげくのはでに、人間が人間を苦しめているというのにおどろきました。



② 自分にできることは何ですか？

パーム油など、動物をきずつけている物を止めるということにはできないけれど、例えば「ごみを減らしたり、電気を消したりしたいです。
 (あと、米をこいた後の水を使う) など。

① 今日の授業で思ったことを書きましょう。

熱帯雨林などがアマゾン川の川になっている所を見て未来の地球はどうなっているのか心配になった。なぜ子供達は地球の事を大事に思っている人が多いのに大人は、気にせず電気製品などを発明して、文化を広めようと思っているの事を疑問に思った。

地球や動物を守るために
 ② 自分にできることは何ですか？

①で書いたようにとても温暖化で地球の事が心配だ。今のマレーシアの話を聞いて、自分でできる事例は「ジュンクを断る。などは基本の事で、もっと米のとき汁などをいろんな事などに使ったりして地球温暖化防止を考えて行きたいと思いました。

① 今日の授業で思ったことを書きましょう。

どうの住むところになくな、たのはだ水のせいとも言えないし、アマゾンの川を作っている人たちに、畑を作るのを止めろといふわけにもいかなないし、どうをこらすわけにもいけなから、みずがおいしいと思つた。
 アマゾンのパーム油に代わる油ねとを作ることができたらいいのかなと思つた。

地球や動物を守るために
 ② 自分にできることは何ですか？

近い所に行くには歩いて、自転車にのったり、ごみを入らず、食べ物を残さぬで、一番大切なことは、地球や動物のことを思ったり考えたりして、意識することだと思ふ。

① 今日の授業で思ったことを書きましょう。

私達、人間が知らない時に、動物は、苦しんでいるのだと思ひました。この授業をしている間、地球温暖化が進んでいると思ひました。すべては、私達がけり困るのかな？

地球や動物を守るために
 ② 自分にできることは何ですか？

私へ家には、熱帯魚がいろいろいます。その木の竹のことうを、夜は、けして、2本を本にたりにて魚を捕まえています。

